

社会保障の拡充と公衆衛生の充実強化を目指して！
今こそ憲法25条をいかし公衆衛生・地方自治を発展させよう！

第 16 回 公衆衛生全国交流集会

日 時 2015年3月7日(土)～8日(日)

(受付開始：12時30分 / 開会：13時00分)

会 場 倉敷ステーションホテル (岡山県)

倉敷市阿知 2-8-1 電話 086-425-2525

JR山陽本線「倉敷駅」南口より徒歩約3分

3月7日(土)

あいさつ	13:00～13:10
記念講演	13:10～14:20
基調報告	14:20～14:50
特別報告1	15:00～15:40
特別報告2	15:40～16:20
現地レポート	16:20～16:50
夕食交流会	17:30～19:30

3月8日(日)

分科会・特別講座 9:00～11:50



安倍“暴走”内閣の下で、憲法改正・戦争のできる国へ加速されてきました。しかし、公衆衛生を含む社会保障充実は、多くの住民が望んでいるにも関わらず、見直し・削減が横行しています。

今回の集会では、阪神淡路大震災から20年を迎え、災害からの復興、公衆衛生支援の重要性を学び、業務や活動の糧になるよう企画しました。

住民のいのちと健康を守る公衆衛生行政に携わるみなさん！そして公衆衛生に関心をお持ちのみなさん！本集会で新たな情勢を分析し、これからの公衆衛生行政をどう切り拓いていくかを学びましょう。そして公衆衛生の充実強化に向けて語り合しましょう！

主 催 第16回公衆衛生全国交流集会実行委員会
日本自治体労働組合総連合公衆衛生部会

後 援 日本医療福祉生活協同組合連合会/自治体問題研究所/全国保健師活動研究会
/全日本民主医療機関連合会/日本医療総合研究所/全国保険医団体連合会
/新日本医師協会

現地連絡先 自治労連岡山県本部 (電話：086-223-0911 FAX：086-227-1393)

集会事務局 自治労連公衆衛生部会 (電話：03-5978-3580 FAX：03-5978-3588)

3月7日(土) 記念講演・特別報告等 13:00~16:50

会場「倉敷ステーションホテル」 4階 大ホール

記念講演 13:10~14:20

「公衆衛生と感染症対策」

講師 高鳥毛 敏雄 氏(関西大学社会安全学部教授)

日本の公衆衛生は、明治初期に長与専齋により、伝染病予防や貧民の扶助、上下水道など人間生活に係る改善の取り組みが示されました。近年までに生活環境は改善され、結核や胃腸炎・日本脳炎などの感染症も少なくなってきました。しかし、最近の情勢では、収入の格差等が健康にも影響を与えています。また、新型インフルエンザやエボラ出血熱などの新たな感染症への対応が重要視されています。先生には、公衆衛生や感染症対策の重要性やその課題、また公衆衛生従事者の留意すべき事項などについて講演いただく予定です。

基調報告 14:20~14:50

「集会の意義と問題提起」

自治労連公衆衛生部会事務局長 梁瀬和美

新興感染症対応や原発事故を含む災害時の健康管理など、公衆衛生の重要性が高まっています。しかし、その対応は職員に大きな負担となっています。それらの問題点や課題を報告し、今後の運動の方向性を提起します。

特別報告1 15:00~15:40

「広島土砂災害への市民病院の対応と組合の取組について」

報告者 濱 美紀子 氏(広島市市民病院職員労働組合書記長)

2014年8月20日に発生した「平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害」は、広島市北部の安佐南区と安佐北区などの住宅地を襲った大規模な土砂災害で、118名の死傷者を出し、約4,700戸の住宅に被害がありました。12月まで行われた医療支援の状況や発災直後からの組合の対応について報告いただきます。

特別報告2 15:40~16:20

「阪神淡路大震災からの復興について」

報告者 森栗 強 氏(兵庫自治労連執行委員長)

1995年1月17日の大震災から20年が経ちました。都市直下型地震で6,434人の尊い命が奪われました。ビルや高速道路が倒壊し、あちらこちらから火の手が上がり、約7,000棟が焼失する惨劇が思い起こされます。「がんばろう神戸」を合言葉に、復興へ向けて奮闘された状況や現在の問題点などを報告いただく予定です。

現地レポート 16:20~16:50

「笠岡市で発生した鳥インフルエンザへの対応と今後の課題について」(仮称)

報告者 小野 一仁 氏(前笠岡市職労執行委員長)

今年1月に発生した岡山県笠岡市の養鶏場での鳥インフルエンザによる鳥殺処分は200万羽におよび、笠岡市職員のほか、県・近隣市職員、自衛隊を動員しての大規模なものになりました。今回の事例から今後の課題等を含めて報告していただく予定です。

3月8日(日) 分科会 9:00~11:50

会場「倉敷ステーションホテル」 4階 大ホール(4分割)

分科会	内容・討論の柱	助言者
第1分科会 行革と公衆衛生・職場の問題	「道州制」に向けた新たな「中核市」制度、事務移譲、等々のほか、人員削減を含めた行政改革による影響が職場や業務に大きな負担を引き起こしています。それらの最新の情勢を学び、今後の運動の方向性を探るとともに、それぞれの職場での問題などを持ち寄って、他県等での対応や解決に向けた方策等を議論しましょう。また、厚生労働省交渉に向けた意見なども出し合える場にします。	久保貴裕氏 (自治労連中央執行委員)
第2分科会 虐待防止に向けた自治体保健師の役割	厚労省による虐待死亡事例の第10次報告からもますます虐待予防は公衆衛生の課題となっており、日常の母子保健事業における健診や訪問活動から具体的にどのように支援のアセスメントをし、支援のあり方を考えるかが鍵になります。そのためには、現場での協力やサポート体制など職場づくりも大切なことです。改めて公衆衛生に関わる事の役割・意義についても考えていきたいと思います。	山田和子氏 (和歌山県立医大教授)
第3分科会 食と環境の安全安心	食材や産地偽装の発覚や異物混入事件が発生するなど、8割以上の消費者が不安を抱えています。国は、事後処理や相談窓口に「保健所」の名を出しますが、行政改悪により保健所が集中・広域化され、公衆衛生部門の機能低下が懸念されます。地域の第一線機関として、保健所は引き続き消費者等の期待に応えるためにいかにすべきか、各地の状況や経験を交え議論します。また、TPPの参加で日本の農業や漁業に打撃を与え、輸入食品が急増することが懸念されます。食糧主権の危機と食品安全基準の引き下げで、食の安全・安心の確保は大丈夫か？議論を深めます。	佐保庚生氏 (農民組合大阪府連)
特別講座 災害対策と保健師活動	阪神淡路大震災・新潟県中越大地震、さらに平成23年3月の東日本大震災では地震・津波に加え、放射能汚染を経験し、昨年8月に広島土砂災害と各地で災害を体験しています。これまでの災害対策から保健師の果たす役割は重要であり非常時の活動は平常時の保健師活動と連動しています。日常の多忙で機能分化した現在の保健師活動を公衆衛生の原点に立ち返って私たち保健師はいかに活動していくかを波川先生の講義を受けながら、一緒に学びましょう。	波川京子氏 (川崎医療福祉大教授)

3月7日(土) 「夕食交流会」 17:30~19:30

会場「倉敷ステーションホテル」内 (会費:5,000円)

地域の話や運動の状況など、全国の仲間と懇談し、お酒を交えて、交流を深めましょう！ 宿泊されない方も、これにはぜひ出席して情報のキャッチを！

終了後、ライトアップされた「夜の美観地区散策」ツアーを行います。
お楽しみに！

分科会等のレポートを募集しています《レポート締め切り2月12日》

分科会等で発表するレポートを募集しています。各地の取組の状況や行政の動きなどを積極的に報告してください。原稿はA4判1行45字35行で、Eメールで送ってください。なお、メールの件名には「公衆衛生集会原稿」と入れてください。

レポートの連絡先：〒272-0023 市川市南八幡5-11-22 千葉県市川保健所内 梁瀬

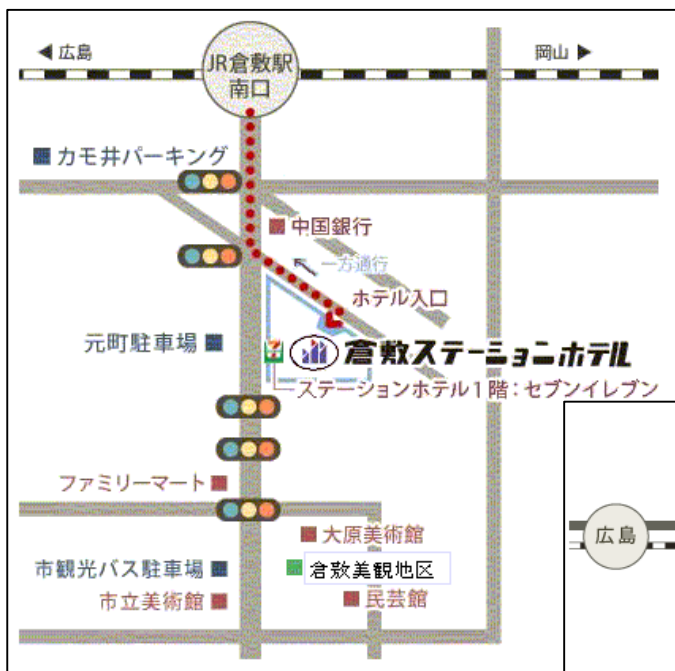
電話：047-377-1103 FAX：047-377-5013

(E-Mail) k.yns@pref.chiba.lg.jp

※「自治労連公衆衛生部会」の活動を紹介するホームページ <http://kmsr.digi2.jp> を開設しました。

内容等変更が生じた際には、同ホームページで紹介します。

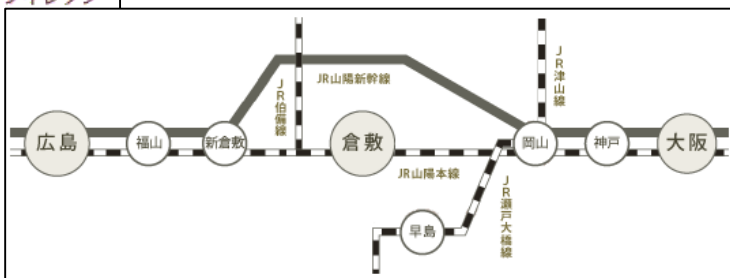
『倉敷ステーションホテル』



◆ J R 山陽本線「倉敷駅」下車南口より徒歩で約 3 分

◆ 新幹線「岡山駅」で乗り換え、J R 山陽本線「倉敷駅」まで 14 分

駐車場の確保をしていません。ご来場には電車等公共交通機関をご利用ください。



※「倉敷ステーションホテル」シングル朝食付き 1 泊 5,420 円～: 宿泊は各自でお申し込みください。086-425-2525

参加費（資料代）＝ 1,000円（一般市民も同額）

夕食交流会＝ 5,000円

○参加分科会等が決まっていたら、番号等に○印をつけてください。

----- 切 ----- り ----- 取 ----- り ----- 線 -----

F A X 0 8 6 - 2 2 7 - 1 3 9 3

自治労連岡山県本部公衆衛生部会 宛

(〒700-0905 岡山市北区春日町 5-6 岡山市勤労福祉センター3 階)

または E-Mail : heimu2094@jcom.zaq.ne.jp

第 1 6 回公衆衛生全国交流集会・参加申込書

申込締切：2月24日(火)まで

集会は当日参加も可能ですが、できるだけ事前に F A X にて申し込みをお願いします。

*個人参加も可能です。 *夕食交流会は事前に申し込んでください。

団体名・組合名等		連絡先・住所			
		(TEL)		(FAX)	
参加者氏名	職種	1日目	夕食交流会	2日目	参加分科会・講座等
				1 2 3	講座
				1 2 3	講座
				1 2 3	講座
				1 2 3	講座
				1 2 3	講座